

小学部は、第 52 回美術教育総合展においてたくさんの入賞作品をいただきました。

書写部門            優秀 4 点

造形部門   立体作品            特選 1 点      入選 6 点

この展覧会は、県内の小中学生の美術教育・書写教育の成果を発表する行事として毎年開催されています。今年は小学部が、書写の部と立体作品の部に応募し、見事にたくさん入賞をいただきました。県立美術館に 2 月 14 日～18 日の間展示され、たくさんの方に力作を見ていただくことができました。

書写の部では、書き初めの作品に応募しました。お正月にちなんだ「正月」、干支の「戌」「いぬ」、自分たちの名前から「ゆ」や「はる」など、得意の文字を選んで書きました。お手本を見たり、何度もなぞって練習したりしてがんばりました。

立体の部では、1 年生は、鬼のお面を作りました。いろいろな材料から自分たちの好きな色や素材を選んで貼りつけ、にぎやかなお面となりました。楽しく作りました。2 年生は鬼の人形を作りました。ペットボトルに水を入れて土台を作り、紙袋に新聞紙をつめて顔にしました。その上に紙を貼り付けて顔を作りました。色紙、モール、ピンポン玉、シールなど、様々な色や素材の中から好きなものを選んで、それぞれに違うユニークで個性豊かな人形ができました。4 年生は、様々な素材の中から好きなものを選んで、自分で自由に考えて作品に仕上げました。作りながらいろいろなものに発展し、最終的には、変身お面セットやドアのある箱など想像力いっぱいの楽しい作品に仕上げることができました。上級生らしい立派な作品です。

審査員の先生から、「時間をかけて、細かい部分までよくがんばって作っています。先生方の素晴らしいアイデアときめ細かい指導で、児童の力を最大限に引き出しているのがよくわかります。素晴らしい作品です。」との講評をいただいています。これからも、毎年みんなががんばって書いたり作ったりして応募を続けていきたいと思います。



